

ふくろう新聞

<発行>

特別養護老人ホーム
淡路ふくろうの郷
広報委員会
洲本市中川原町中川原
28番地1
TEL:0799-25-8550
FAX:0799-25-8551

淡路ふくろうの郷 地域交流会発足!



▲発足会の様子。

1月28日(日)「淡路ふくろうの郷地域交流会」が発足しました。

これは、洲本市中川原地域とふくろうの郷との交流事業を通じて、ふくろうの郷が地域福祉の拠点としての役割を発揮して欲しいとの願いを込め、ふくろうの郷機能回復訓練室で開かれたもの。

この日、発起人北岡肇氏の呼び掛けに賛同された20名の地域の方々、法人の三根理事長や役員の方々が、会則案や役員選出、交流事業の計画などについて活発な意見交換がされました。

3月16日はひょうご聴障ネット主催の和太鼓バリアフリー紺ダートです。入所者の皆さんも和太鼓は体に響いて楽しめるのでとても楽しみにしています。みなさん一緒に楽しみましょう!

た。(写真)

役員には、会長に北岡肇さん、副会長には神代好孝さんと金坂明久さんが選出されました。4月には総会を開催し、

2月24日(土)中川原地域の独居老人の皆さんと民生委員の皆さんやボランティアの方々との交流会を開きました。昨年7月に続き2回目の交流になります。

今回は地域の方々にひな人形作りの指導や、ひな人形を入れる竹をご準備頂きました。

ひな人形作りは細かい作業でしたが、みなさ



ひな人形作りで交流

地元中川原地区
独居老人と食事会



形が完成しました。(写真)

お昼はいなり寿司と巻き寿司、菜の花の味噌和えや天ぷら等、春を感じるメニューで、「こんなに豪華なお弁当を頂いて、かわいいひな人形も作って帰ることができて、本当に楽しかった」と、喜ばれました。

小・中学校との交流では9月の運動会への参加や、10月のふくろうふれあい祭りへの取り組みなど、今後の会の活計画が話し合われることとなります。地域交流委員の委任状授与式の様子



▲地域交流委員の委任状授与式の様子

読書家



カイジ イクオ
海津維久男さん

今月は海津維久男さんを紹介します。

海津さんは20年以上も入院されておりました。ふくろうの郷の開所後、日帰りの体験入所の形で訪問を重ねられました。そしてふくろうの郷が海津さんのくらしの場となりました。

入所されてからはいつもふくろう工房の手仕事や行事を楽しまれています。手仕事では、「紙すき」が担当です。ふくろう大学の農業講座では、春先に畑に植える野菜を探しにみなさんとでかけました。そんな海津さんがとくに欠かさず続けているのが施設の

玄関先にボランティアの方が整備してくださった花の水やりです。

もう一つは読書です。図書館から借りては一生懸命読まれています。

ユニットでは食事の準備を手伝っていただき、助けをいただいています。

(介護..裏井)



▲畑にまく肥料を
選んでいます

はなまて

ふくろうの郷へ新たに5人のみなさんが入所されました。これからよろしくおねがいします。



藤田定子さん
2月8日入所



新居文男さん
2月22日入所



長尾糸みさん
2月19日入所



武田和代さん
2月26日入所



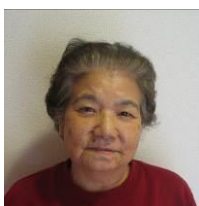
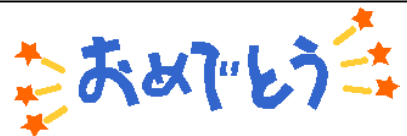
宮内武友さん
2月22日入所

うずしおマラソン 初のろう者入賞!

2月25日、第26回淡路島うずしおマラソンに京都からマラソン好きの方2人がふくろうに前泊して参加し、ろう者の宍道幸雄さんが3位入賞しました。この大会でのろう者の入賞は初めてのこと。ふくろうの職員4人も参加しましたが、記録なし。

そして、この大会がきっかけで2年前から毎月ふくろうへご寄付頂いている、藤原上さんにもお会いすることができ、日ごろのお礼を言うことができました。また、毎年、大会にはおのこの作業所がバザー出店しております。

3月 お誕生日のみなさんです



編み物が趣味
とても器用
福島豊子(77歳)
昭和5年3月2日



甘いもの大好き♡
湯浅キヨ子(80歳)
昭和2年3月31日



おしゃれ好き
吉田みさ子さん(79歳)
大正3年3月30日



優しい笑顔で
奥さんと仲良し。
花房豊治さん(83歳)
大正13年3月5日



いつも明るい笑顔を
ふりまいてくれます。
志田こすゑさん(90歳)
大正6年3月29日

社会見学 in 神戸

南京町&グリコ工場へ

2月に行なわれた社会生活教室(淡路聴覚障害者センター主催)で、南京町や神戸のおかし工場見学へ行きました。



▲南京町で記念撮影

参加された入所者の福島さんにお話をききました。

「ふくろうの郷のみんなで神戸に行けてうれしかったです。午前中、南京町を見学しました。お土産を買いたかったのですが、店に並んであったものが肉まんばかりで、私は肉が食べられないのでお土産はあきらめました。」

「グリコのおかし工場はともきれいなところで、お土産にももらったおかしもおいしかったです。あとはバスに乗って帰ってきました。ちよつと疲れたけど、とても楽しかったよ。」

福島さんは終始笑顔で、楽しく話してくれました。

(介護…神代)

～ お便り ～ 洲本第一小学校 4年生のみなさんより



ふくろう新聞2月号の紙面で紹介した、1月23日の交流に参加した小学生のみなさんから、入所者・職員へお便りが届きました。

「入所者さんと手話で話せてうれしかった」
「バッジ・ケーキ作り楽しかった」
「車イス体験、お風呂見学楽しかった」
「たくさん感想を頂き、ありがとうございます。お手紙は施設内に掲示させて頂きました。また遊びにきてくださいね。」

退所の方々



長塚初枝さん
平成19年2月3日
退所

娘さんと一緒にユニットで生活していました。ご家族の希望で入所前のグループホームに再入所されました。



大田 弘さん(左)
大田 喬子さん(右)
平成19年2月14日
退所

ふくろうの郷開所当時より、自治会会長・副会長としてがんばってこられました。ふくろうの郷を卒業し、お二人の御希望でご夫婦2人地域での生活に再挑戦です。



竹鼻加三さん
平成19年2月25日
退所

残念ながら病院での長期入院生活となり、退所することになりました。元気になって戻ってきてくださいね。

【訃報】

小井手 美代子さん(79歳)
平成19年2月20日 時 分 永眠



小井手さんのご自宅はふくろうの郷の目の前です。平成17年9月にふくろうの郷の上棟式の際にはとてもお元気で参加されていました。その後、体調を崩され、昨年6月19日にふくろうの郷に入所されました。

施設生活にも慣れ、みんなからは「美代ちゃん、美代ちゃん」と呼ばれる人気ものでしたが、脳出血のために急逝されました。
御冥福をお祈りします。

雛人形ご寄付

3名の方から雛人形をご寄付いただきました。

北風章子さん(入所者)、竹葉〇〇さん(明石)、浜田須美子さん(神戸)です。いずれも7段飾りのとても立派なもの

で、ふくろうの郷を華やかにしてくれています。

ありがとうございます
ごじらいます



ひなまつりの由来

ひなまつりの由来は今も行なわれている「流し」のルーツと「ままごと遊び」に関連しているといわれています。



「流し」とは、当時古い中国の上巳節(3月初めの巳の日)の風習で、紙で作った人形に自分の厄災を託して川に流す行事です。今でいう「ままごと遊び」とは、当時少女たちの間ではやっていた紙で作った人形などで遊ぶ「ひいな遊び」が由来といわれています。

この二つの「流し」と「ひいな遊び」が長い年月の間に重なり合って現在の「ひなまつり」にいたるそうです。

ひな祭りに飾る食べ物といえば「雛あられ」「ひし餅」「白酒」が有名ですが、鯛、はまぐりの料理でお祝いをする地方もあるそうです。

「ひし餅」の色について、赤白緑の3色のものが多くありますが、地方によっては5色、7色のひし餅もあるそうです。赤色は「桃の花」を表し、白色は「残雪」を、緑は春先に芽をだす「若草」を表しているといわれます。

(調理: 桐本)

職員からひとこと



相談員
ケアマネジャー
八木 正子

はじめまして、八木正子と申します。昨年3月末に京都から来ました。以前の職場は小児科専門の診療所で看護師をしていました。対象者がこどもから高齢者にかわり、とまどうことばかりです。

昨年1年間は入所希望の方や短期利用の方の相談などの仕事に関わらせてもらいました。久しぶりの手話にもオロオロしてしまいましたが、入所の方の暖かい励ましのおかげでなんとかがんばれました。

今後「一人ひとりを大切に」のスローガンをかみ締めて入所者から学んでいきたいと思えます。

～ 佐藤 健作 バリアフリー和太鼓コンサート ～

2007年3月16日(金)
午後5時30分開場、6時30分開演
会場：神戸文化ホール大ホール
前売券 3,500円
当日券 4,000円
主催：ひょうご聴障ネット

【問い合わせ：078-362-5250】

佐藤健作さんは、サッカーワールドカップ開会式において和太鼓を披露するなど、世界的にも有名な和太鼓演奏者です。また各地でのバリアフリーコンサートも精力的に開催しております。今回は聴覚障害者にも楽しめるよう、ダイナミックな演奏をより強く体で感じてもらうための風船を用意しています。

※ ふくろうの郷でもチケットを取り扱っています。

